

次回折込のお知らせ

MIRAI次回の折込は『情報誌YOU/5月26日号』を予定しています。

また、3月、4月は『MIRAIダイジェスト(仮題)』として、ご希望の方に郵送などでお届けします。『名張育成会「MIRAI」係』まで、「〒住所、氏名、電話番号」などをお知らせの上お申し込みください。ブログは、毎週(月)・(木)を中心に週2回以上更新予定。最新情報は、ブログをご覧くださいね!!

YOUブログ:



撮影:山口大介(県立名張西高校)

People

菅尾博司さん(44)

名張育成園には障害がありながらも、さまざまな才能を開花させている利用者の方が大勢いらっしゃいます。今回は「書」や「絵画」などアートの分野で活躍されている菅尾博司さんを紹介いたします。

ません。普段は名張市内のケアホームで生活する菅尾さん。平日は午前10時ごろに名張育成園の活動支援施設「ききょうの家」へ通所。夕方4時ごろまで作業に取り組まれています。

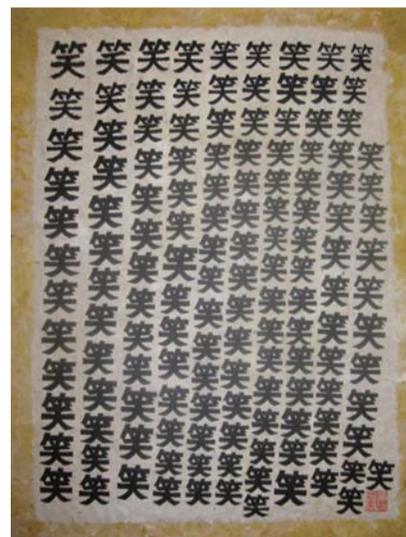
まるでライフワークのように創作活動に取り組まれているという菅尾さん。その鮮やかな色彩感覚は職員の誰もが感嘆、感心するもの。完成度が高く、独創的な作風に、ファンも多く、展示即売会などでは、すぐに売り切れてしまうほどの人気だとか。

休日にヘルパーさんに付き添われて出掛けるのは買い物が主で、定期的に雑誌を購入。カラオケに行くと、自身ではあまり歌わず、ファンだという松田聖子さんの曲を聞くことに徹しているそうです。また、忘年会や新年会などのイベントにも積極的に参加。充実したライフスタイルを楽しんでおられます

創作は大胆。下書きなしに一気に作画。「横で見ていると、適当に作っているように思うんですが、後で見るときっちり作品に仕上がっている」と支援員さんも舌をまくほど。

「芸術家肌のようなところがある」と支援員さんも一目置く菅尾さん。今後の活動にますます期待が持てます。

墨で輪郭を描き、完成後に彩色するのが菅尾さんのスタイル。レタリングも下書きなしに奇麗な「ゴシック体」に書き起こすそうです。



代表作の一つ「笑」、ほかに「般若心経」など。Vol.1で紹介した「和紙漉きアート」は菅尾さんの作品。

ダイナミックな作風の反面、時間には厳格で、自身の生活リズムは決して壊さず、集中するタイプ。そのため、完成間近であっても作業を終了させることもしばしば。まさに「本人のペースで生活している」そうです。

リーフレットやチラシを集めるのが趣味で、必要な部分だけを切り取っては大切に残してあるのだとか。それが創作活動の源になっているのかも知れ

代表作の一つ「笑」、ほかに「般若心経」など。Vol.1で紹介した「和紙漉きアート」は菅尾さんの作品。

Art & New

設です。陶芸や絵画また書など創作分野を問わず、その人たちの個性を引き出し、魅力を伸ばせる工房として、アートに興味のある障害者の方を広く募集し、アーティスト育成に努めます。

育成園でも、本日紹介した菅尾博司さんや、隠れた才能をお持ちの方が大勢いらっしゃいます。その方たちの作品と社会をつなぎ、作品を通じ、その人らしく輝ける場所として事業を進めていきたいと考えています。

Café & Gallery【輪】

アート工房に隣接した、カフェ&ギャラリーです。カフェでは、数々の人気スイーツを提供する西宮の『パティスリーブラザーズ』ロールケーキを、名張で初

めてご賞味いただけます。また、コーヒーなど飲み物も、こだわりの逸品がご提供できるよう準備を進めています。

ギャラリーは、展示会を始めとした催しのほか、地域の皆さんにも開放されたスペースとしてご利用いただけます。

就労事業所【栞】

障害者の方へ『就労支援事業』を行います。

<就労移行支援事業>企業への就労を希望される方に対し、必要な知識・技術等を習得してもらうための支援や、関連企業と連携して、実習・求職活動から就労後の定着までの支援を一貫して行います。<就労継続支援事



業B型> 一般企業への就労が難しい方、離職された方、仕事をする事で社会的自立を目指したい方へ、働く場所を提供すると共に、知識及び能力の向上のために必要な訓練を行います。

それぞれ、詳しいことがわかり次第、ブログなどでお知らせいたしますので、宜しくお願いいたします。

この春、名張市百合ヶ丘に新事業所がオープンします。

施設は、広く市民の方にもご利用いただけるような、地域の新しい顔として親しまれる工夫がイッパイ!今回は、その概要を少しご紹介します。

アート工房【彩】

日本でも珍しい、障害者のプロアーティストを育てる本格的な創作活動施

Work

生活支援員・丸仲敏郎さん (ワークセンター)

ワークセンターで生活支援員として活動されている丸仲敏郎さん。入社10年のベテラン支援員として、利用者の人たちからも慕われています。今回はそんな丸仲さんにお仕事の話をお聞きしました。

――福祉関係の仕事に就いたきっかけを教えてください

「実は以前、名古屋で印刷関連の仕事に就いていたんですが、10年前に名張へ戻って来ました。母親が養護学校の教諭をしていた関係で、子どものころから障害のある人とはつながりがあって、育成園にも何度か訪問したことがあったんです。それに美術教員の免許も持っていたことから、この仕事に生かせないかと思ったのがきっかけです」

――仕事の内容は？

「利用者の人の作業支援をしています。企業さんからの委託作業はもちろんのこと、陶芸や草木染め、和紙づくりなど、作品づくりのお手伝いもさせても



らっています。「障害者支援施設 成美」では誕生会や忘・新年会などのイベントにも携わっています」

――仕事での苦勞はありますか？

「人の生活を支援するのはやはり難しいです。一人ひとりの利用者を細かくケアをしてあげたいという気はあるのですが、実際そこまでケアできているのかなというジレンマで心苦しくなる時があります」

――感激したことはありますか？

「感激というか、嬉しいのはやはり、利用者の方々の笑顔を見ることです。利用者の方が作った作品がお客様に気に入ってもらえて売れた時、そのことを話すととびきりの笑顔で喜んでくれるんです。それが感動、感激かな」

――今後の夢や抱負は？

「普段話を黙って聞いてあげたり、逆に盛り上げたりと、利用者の性格に合

わせて楽しい作業ができるよう心掛けていますが、今後も更により支援ができるようがんばります。日々、修業です」

奥さまにお聞きしました。

――福祉に携わるとご主人ですが、奥さまはどのように感じておられますか？

「大変なお仕事だと思いますが、これからも利用者の方が快適に過ごせるよう努めてほしいです」



☆ワークセンター

ホームページ: [名張育成園ワークセンター](#)

連絡先 (TEL) 0595-65-8286

ワークセンターでは、障害者の方が、書道・花入り和紙・和紙・草木染・陶芸・一閑張り・絵画などを作る支援をしています。また、地域のイベント等でも展示販売しております。可能な限り、イメージ・値段・個数などの希望に応じた注文にもお答えしますので、気軽にお問い合わせ下さい。

☆生活支援員とは…

「一人ひとり悩みを聞き、課題解決にむけて計画をつくり実行する」福祉に関する悩みを持った高齢者や障害のある方、病気になる方、子どもやその家族などの相談によって、相談者と一緒を考えたり、アドバイスをしたりする仕事です。利用者や家族との相談を通して、施設への入退所の手続きや、施設内でのサービス利用についての相談も受けます。

Eye

高校生の目線で福祉を捉える Eye。

第4回目は、育成園内に新しくOPENする、『パン工房』で焼かれるパンの試作の様子を、県立名張西高校写真同好会のみなさんに撮影(試食?)していただきました!



撮影者: 山口大介

『パン工房』では、この春の開店に向け準備を進めています。是非ご来店ください。

お問合せ先:

(TEL)0595-66-0020(ういず)



撮影者: 鎌田尚央



撮影者: 楠見萌

Event 第12回陽だまりコンサート

入場無料



障がいのあるなしを超えた、「人と人との共感」をテーマに、多くの市民の方々と一緒に創り上げる楽しいコンサートです。

日時: 平成24年3月4日(日)

開場13:00、開演13:30～

場所: アドバンスコープADSホール
(旧青少年センター)

主催: 陽だまりコンサート実行委員会

お問合せ先: 陽だまりコンサート実行委員会 委員長: 松井
(TEL)0595-65-4518



心が温まってく...

きっとたのしいよ...